

## 会議議事録

会議名	長岡市交通バリアフリー基本構想策定委員会第1回委員会
開催日時	平成13年8月6日 14時～16時
開催場所	市役所4階大会議室
出席者名	<p>■委員長 齋藤 純</p> <p>■委員 佐藤 愛子 佐藤 佳代 田井 健一 太刀川 武 藤井 良治 増田 くみ 源川 久恵 能登 優一 加藤 順一(代理 和田 茂秋) 千野 正夫 桑原 敏幸(代理 佐野 由則・小塚 一広) 小林 浩也 丸山 澄夫 木本 二郎</p> <p>■委員随行者 長岡土木事務所 井上主査</p> <p>■事務局 都市整備部 小林部長 防災課 久須美課長 福祉総務課 高野課長、小林係長、植木主事 道路管理課 野口課長補佐、稲川係長 都市政策課 中沢課長、山本課長補佐、佐藤係長、高頭主任 八千代エンジニアリング(株) 長谷川副部長、別府、奥平</p>
欠席者名	なし
議題	交通バリアフリー法について 長岡市交通バリアフリー基本構想について
審議結果の概要	基本構想策定作業の進め方について了承
主な意見内容	
「はじめに」で10年以内に実施するとありますが、できない場合はどうすればいいのでしょうか？ 予算の問題があり、必ずできるということは明言できない。	
基本構想を策定した場合、実施しなければなりません。10年でできることをどれだけ基本構想に盛り込めるかが問題になります。	
長岡の人口についてですが、将来の人口についても入れておいた方がいいと思います。	
法律ができたからやるというものではないと思う。	

シンボルロードのような立派なものを作っているが、ほかの市道、歩道にはめちゃくちゃな道が多いと思う。どこまで把握して構想を策定されようとしているのか？

長岡駅の1階から2階へのエレベーターはありがたいが、その先がどうなっているのかわからないという不安があります。道路はでこぼこが多く、障害者の方にとっては非常に危険な状態です。一度みなさんと全部回ってみられてはどうでしょうか？現在の市道の中でどうなっているのかをどれだけ把握し、これからどう整備していただけるのかを聞きたい。また駅東側に非常に事故が多いというのに駅前交番の職員が非常に少ない事が心配です。駅東側に目を向けていただきたいと思います。

道路管理課で市道の整備を進めております。道路の実態調査につきましては、実態調査を実施しているところでございます。段差解消などの歩道整備も年間1~2kmずつ順次行っているのですが、なかなか進まないというのが現状です。

駅前交番は空けないようにしています。駅東側につきましては、駅前交番とは担当する範囲が異なっており、緊急の場合には本署が対応しております。110番のシステムが最近変わり、一番近くにいるパトカーがすぐに行ける様な状態になっています。

なるほどなという気持ちで聞いておりました。バリアフリーもいいですけど、ユニバーサルということを根底におくということに感心しました。できたら、高齢者や身体障害者だけでなく広く市民へのアンケートを実施して欲しいなと感じました。

また障害者の方の必要なサービスということでもとめられていらっしゃるんですが、ハードとソフトが一緒に入っているのを整理した方がいいのではないのでしょうか？両面が併記されるとわかりやすいのかなと思います。

アンケートの対象は高齢者センターや障害者団体へ協力いただいて実施するつもりでございます。今回のアンケートでは目的を絞り込むために対象者を限定しています。一般市民の意見聴取はインターネット等を活用し意見募集の場を設けたいと考えています。

またソフト、ハードに分けて整理することは今後もそのようなことが多くなると思われますので、気を付けて参りたいと思います。

日々まちを見ていて放置自転車が気になります。またシンボルロードもまともに歩けない状況です。

イトーヨーカドーの周辺、地下の階段前に置かれています。注意すると移動する人もいるのですが、最近は常識のない人が多いので注意するのも危険です。駐輪によって通る道が狭くなってしまいます。

市街地で車を止めて安心して車いすを降ろす場所がありません。安全を確認しながら降ろすしかありません。

また、買い物に行っても自転車があって進みづらいという事があります。雨が降ったときは滑りやすくなり非常に危険です。

私自身あまり駅を利用しないのですが、たまに行ったときにエレベーターがどこにあるかわかりにくいことがあります。車いす用のトイレも数が限られています。

特に気になるのは、長岡市民を含めた全国的な市民のモラルだと思います。障害者によりよい道をとということで、誘導ブロック、音響式信号などの設置を呼びかけ、実際に実現したものもありますが、先ほど資料の中でもありましたように、誘導ブロックの上へ看板が出ていたり、自転車が放置されていたり、商品がおかれているような状況です。これらを傷つけたら弁償しなければならないのかという心配をしています。

また、駅の地下道は段があり歩行も大変です。この段を取り除いて、幅も広げて、駐輪場を作ったらどうかと思っております。駐輪場を作ることで、駅の東側・西側共に、放置自転車がいくらか解消されるのではないかと思います。障害者が歩ける駅周辺ができるのではないかと思います。

長岡駅は長岡の顔となる駅ですので、この点に一番留意していかなくてはならない問題ではないでしょうか？直江津駅と同じようにエレベーターやエスカレーターがいつも稼働している駅になって欲しいと思っております。

大手通も駐輪や商品が出ており、駐輪に関しましてはシルバー人材等にご協力いただき整理整頓に勤めているところでございます。なお一層対応していかねばならないと考えております。

2人の子供がいますが、歩道をベビーカーと子供が並んで歩くことができないため、車道を歩くようになっていきます。二酸化炭素など環境問題もありますし、できるだけ車を使わないようにしたらと思います。ベビーカーでは長岡駅周辺は歩きにくいです。

是非長岡駅周辺の整備を進めていただきたいと思っております。シルバー人材の方々がんばっているという話がありましたが、まだまだ元気な高齢者がたくさんいます。そして長岡のまちを自分たちが元気なうちに住みよいまちにしたいという思いがとても強いです。ボランティア活動としても、お手伝いできるのではないかと考えています。駅周辺がゆったり歩ける街になればいいなと思っております。

今回の重点整備地区の対象範囲には国管理の国道は含まれていません。対象範囲に入る国道では、県が管理する国道はあります。長岡国道では8号、17号、116号、3路線200km余りの管理をやっていきます。バリアフリーの対応については、実際の所非常に困っています。

5、6年前に国道の点検調査を実施したことがあり、車いすだと車道方向へ流れることがわかりました。また、集水ますのグレーチング蓋に車いすのタイヤがはまり急ブレーキがかかって投げ出されそうになりました。

困っているのは既存の道路がある場合、民地の高さで車道の高さの調整が難しく、道路そのものを作り直すのかと悩んでいます。

この委員会の中で貴重な意見を聞きたいと思っております。

われわれが関わるのは長岡駅と車両と考えております。言い訳がましくなりますが、われわれの管轄にある駅は1700を越えており、まだバリアフリーなどが話題にならない時にできた駅が多いのが現状です。さきほどまでに指摘された事項は良く認識しておりますが、すべてやるとお金がかかります。既存の施設の改修が必ず伴いますので時間もかかります。

大手口のエレベーターは国と市のそれぞれ3分の1づつの補助によりできました。整備するに当たり地域の声を聞いていきたいと思ひます。他の意見につきましても会社の方に言つて下さればと思ひます。

車両については長い間使うものでありまして、ホームと車両の高さの差があるのが現状です。ホームの高さは法で決められている2種類の高さしかありません。最大で30cmの差がある車両が走つているのが現状であります。この段差を解消するためには、全てのホームの高さを揃える必要があり、何十年もかかる可能性があります。新しい車両はホームとの高さを揃える方向で進んでおりますのでご理解を頂きたいと思ひます。

本日は委員会に参加させていただきました誠にありがとうございます。本来はこの席でお話しすべき事項ではないのかも知れませんが、バス会社の現状についてお話しさせていただきたいと思つております。

今の時代は交通手段が選択できる時代でありまして、自家用車、バイクなどの他の交通手段の増加により、バス利用者が年々減つております。10年前から比べると56%です。また乗合バスなどの事業者以外でも自由にバスを運行することができる規制緩和によつて採算が取れない状況となつております。また排ガス規制などもあり厳しい状況です。今回のバリアフリー法も取り組まなければならないということですが、企業努力にも限界がありますので、国、市などの支援・指導が必要です。

一方では、このバス離れの状況が「おっかなくて乗れない」ということからもでてきており、ショックを受けております。これに対しましては、接客対応などの社員教育を実施しており対応に努めております。まずはバスの現状をご理解いただきたいと思ひます。また市につきましては、ノーステップバスの導入に際しまして支援いただき誠にありがとうございます。

現在の交通状況を考えますと、まちのバリアフリー化が進めば事故が減るのではないかと期待しております。交通事故は1日40件程度あり、交差点、高齢者の事故が半数以上を占めます。道路を利用する方のストレスを軽減することが事故を少なくすると思われます。また先程からのマナーが大切だという意見は大変参考になりました。

ハードの面は今後改善されていくことと思ひます。また、駐輪のマナー等の一般の人々へのバリアフリーに対するPRが必要であると思ひます。

計画区域内の国道は全て県管理であります。これまでの道路整備は車優先の整備であつたわけですが、社会生活が変わつてきているのが現状であります。道路構造令についても改正がされ、年度ごとになつていって、使いにくい整備がされているという批判を受けております。県といたしましてはハートフルタウン、バリアフリーまちづくり事業と市と一体となつて進めていりますが、歩道の幅などには現実的には難しい状況です。また先程指摘されました民地の出入口との関係など非常に難しい。この委員会の中ではみなさんと話しながら整備計画を立てていきたいと思ひます。

これまで高齢者や身体障害者などを軽視した整備をやつてきたのではないかと認識しているところでございます。今後も努力して進めていきたいと思ひます。

皆様方の意見を聞きながら事業者の事情もよくわかりました。ですが何もできないのではだめで、これから立場毎の知恵と工夫を重ねながら進めていきたいと思っています。